

指定棚田地域振興活動計画

作成主体の名称：岩見沢市指定棚田地域振興協議会

1 指定棚田地域振興活動を通じて保全を図る棚田等に関する事項（棚田等の名称及び範囲）

岩見沢棚田（1/15.0（19ha）うち政令に定める棚田地域の要件に該当する1/20以上の一団の棚田は19ha）
範囲については、別添1のとおり。

2 指定棚田地域振興活動の目標

（1）棚田等の保全

・集落機能強化

令和6年まで宝水集落で町内会などと連携して地域の清掃を年2回行う。

令和6年まで上志文集落でメープル小学校PTAなどと連携して地域の清掃を年2回行う。

・生産性向上

令和6年までに宝水集落において畦塗機2台を導入する。

令和6年まで宝水集落における4年間で畦塗施工長を1,000m実施する。

令和6年まで上志文集落における4年間で畦塗施工長を10,000m実施する。

令和6年まで毛陽集落において畦塗機の賃貸を受け、4年間で畦塗施工長を400m実施する。

令和6年まで毛陽集落で農業生産法人に作業委託し、労働力不足の解消を図る。（作業委託面積現況0ha→目標1ha）

（2）棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

・棚田の価値を活かした活動

令和6年まで宝水集落で4箇所の良い景観の創出のため、排水路の草や雑木の整理を行う。

・集落機能強化

令和6年まで上志文集落で高齢者世帯の安全・安心の確保のため、月1回以上対象世帯を訪問する地域見回り隊を新設し支援を行う。

令和6年まで毛陽集落と隣接する万美集落が協調して地元集会所周辺の環境整備を年3回行う。

- ・生産性向上

令和6年まで宝水集落において電牧柵を新たに400m設置し維持管理を行い、被害を防止する。（被害防止農用地面積現況0ha→目標1ha）

令和6年まで上志文集落においてアライグマの作物被害防止のため年間5基の箱罾の購入・設置を助成する。

令和6年まで上志文集落において鳥獣害防止に係る電牧柵既設600mを2,400mまで増設し維持管理を行い、被害を防止する。（被害防止農用地面積現況3ha→目標9ha）

令和6年まで毛陽集落において鳥獣害防止に係る電牧器1台を導入し、電牧柵の設置と管理を行う。（被害防止農用地面積現況0ha→目標2ha）

(3) 棚田を核とした棚田地域の振興

- ・棚田の価値を活かした活動

令和6年までに宝水集落において米の統一ブランド袋を作成し、購入者への棚田米のPRを行う。（米の販売目標数量4年間で30t）

令和6年まで上志文集落においてメープル小学校の年2回の体験学習に協力し、延べ80人の児童に棚田地域の理解を図る。

令和6年までに上志文集落において直売所活用のための看板を2箇所に設置する。

令和6年までに毛陽集落において棚田米をブランド化し、直売用の米袋を作成し、販売を行う。（米の販売目標数量4年間で6t）

- ・集落機能強化

令和6年まで毛陽集落と万美集落、地域町会が連携してもみじ祭りを開催する。（集客人数現況1,000人→目標1,800人）

3 計画期間

認定の月～令和7年3月

4 各年度において行う指定棚田地域振興活動の内容及び実施主体に関する事項

(1) 指定棚田地域振興活動の内容

以下の指定棚田地域振興活動について、別添2の工程表に基づき実施することとする。

① 棚田等の保全

- ・集落機能強化

宝水集落において、集落内基幹道路の清掃（ゴミ拾い）を行う。

上志文集落において、地域の各種団体と連携して基幹道路を3班体制で清掃（ゴミ拾い）を行う。

・生産性向上

宝水集落において、畦塗により畦畔を維持保全する。

上志文集落において、畦塗により畦畔を維持保全する。

毛陽集落において、畦塗により畦畔を維持保全する。

毛陽集落において、農業生産法人へ水稻の刈取や調製の委託を行う。

② 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

・棚田の価値を活かした活動

宝水集落において、草や雑木を整理し、良好な景観を確保する。

・集落機能強化

上志文集落において、高齢者世帯を対象に訪問活動を実施する。

令和6年まで毛陽集落と隣接する万美集落が協調して地元集会所周辺の草刈りを行う。

・生産性向上

宝水集落において、電牧柵を設置し、鳥獣被害防止を推進する。

上志文集落において、電牧柵や箱罾を設置し、鳥獣害対策を推進する。

毛陽集落において、電牧柵を導入し、鳥獣被害防止を推進する。

③ 棚田を核とした棚田地域の振興

・棚田の価値を活かした活動

宝水集落において、米の統一ブランド袋を作成し購入者へのPRを行う。

上志文集落において、小学校の体験学習（田植・稲刈）の指導・作業補助を行う。

上志文集落において、直売所に地元農産物のPR用看板を設置する。

毛陽集落において、直売用のブランド袋を作成し、販売に取り組む。

・集落機能強化

毛陽集落において、毛陽・万美地区で開催するもみじ祭の会場の整備や草刈りを行う。

(2) 指定棚田地域振興活動の実施主体

上記(1)に掲げる指定棚田地域振興活動の実施主体は、主に下記5の指定棚田地域振興協議会の参加集落の構成員である。

5 指定棚田地域振興協議会に参加する者の名称又は氏名

岩見沢市指定棚田地域振興協議会は、岩見沢市、農業者、農業者団体、地域住民の代表で構成。

参加者の名称又は氏名については、別紙のとおり。

6 その他指定棚田地域振興活動に関し必要な事項

令和3年度棚田地域振興活動加算に係る取組内容(全取組期間)

市町村名： 岩見沢市

集落協定名：宝水集落協定

取組期間：令和3～6年度（4年間）

達成目標		目標に係る具体的な活動内容	活動に係る経費内訳	積算根拠	金額（円）	
ア 棚田等の保全	棚田の価値を生かした活動					
	集落機能強化	令和6年までに宝水集落と町内会などと連携して地域の清掃を年2回行う	地域の町内会と連携し、地域清掃を行うことで、活性化を図る	人件費	1千円×15人×2回×4年	120,000
	生産性向上	令和6年までに畦塗機2台を導入し、畦塗りを4年間で1000m行い漏水防止、冷害危険期の水位確保により不稔の減少、除草剤効果の向上により安定収量の確保する	畦塗機を新たに導入し、畦塗の施工により、漏水防止等を図る 畦塗施工 4年間で1000m実施	機械導入費	畦塗機 1,375千円×2台	2,750,000
イ に わ 棚 た 田 等 機 の 保 全 を 通 じ た 多 面	棚田の価値を生かした活動					
	集落機能強化					
	生産性向上	令和6年までに新規に電牧柵を設置し鳥獣害から作物を守る(被害防止農用地0ha → 目標1ha)	電気柵を設置、また維持管理を行うことによって、鳥獣害から作物を守り、収量増加を図る	資材費 資材費	電牧柵 1式 156,200円 除草剤等 62,500円×4年	156,200 250,000
ウ 棚田地域の核と興した棚	棚田の価値を生かした活動	令和6年までに米の統一ブランドの袋を作成し購入者への棚田米のPRを行う(米の販売目標収量4年間で30t)	ブランド米袋を作成し、直売所等で販売を進め、棚田米のPRを行う	資材費	米袋(10kg) 100円×3,000枚	300,000
	集落機能強化					
	生産性向上					
合 計					3,576,200	
<参考：棚田地域振興活動加算交付金額>				894,050 円/年×4年＝	3,576,200	

令和3年度棚田地域振興活動加算に係る取組内容(全取組期間)

市町村名： 岩見沢市 集落協定名：上志文集落協定 取組期間：令和3～6年度（4年間）

達成目標		目標に係る具体的な活動内容	活動に係る経費内訳	積算根拠	金額（円）	
ア 棚田等の 保全	棚田の価値を生かした活動					
	集落機能強化	令和6年までに上志文集落でメーブル小学校PTAなどと連携して地域の清掃を年2回行う	地元小学校と連携し、地域清掃を行うことで、地域の活性化を図る	人件費 資材代(ゴミ袋、軍手等)	1千円×15人×2回×4年 250円×60人×2回×4年	120,000 120,000
	生産性向上					
イ 棚田等の 機能の保全を 維持・発揮 を通じた多 面にわたる	棚田の価値を生かした活動					
	集落機能強化	令和6年までに上志文集落で高齢者の安全・安心の確保のため月1回以上対象世帯を、訪問する地域見回り隊を新設し支援する	協定参加者及び地域の町内会が連携し、地区の高齢独居世帯(20件)を月1回以上訪問し、生活環境の聞き取りや独居世帯支援として、草刈りや除雪作業を行う。	人件費	2千円×5人×12か月×4年	480,000
	生産性向上	令和6年までにアライグマの作物被害防止のため、年間5基の箱罾の購入、設置の助成をする 令和6年までに電気柵既設600mを2,400mまで増設し、維持管理を行い被害を防止する(被害防止農地面積現況3ha目標9ha)	例年行っている箱罾の購入を継続して行い、電気柵を増設・維持管理することにより、鳥獣害から被害を守り、収量増加を図る	資材代 資材代 資材代	箱罾10千円×5基×4年 電気柵1式320千円×4年 除草剤等 70,010円×4年	200,000 1,280,000 280,040
ウ 棚田を核と した棚田地 域の振興	棚田の価値を生かした活動	令和6年までに地元小学校の年2回の体験学習に協力し、延べ80人の児童に棚田地域の理解を図る 令和6年までに上志文集落において直売所活用のための看板を2箇所設置する	地元小学校が行う体験学習(田植え、稲刈り)に集落として協力し、棚田についての理解を深めてもらう 直売所活用看板を設置し、周知を行う	人件費 資材代 人件費	2千円×15人×2回×4年 1式420千円×2枚 2,500円×8人×2枚	240,000 840,000 40,000
	集落機能強化					
	生産性向上					
合 計					3,600,040	
<参考：棚田地域振興活動加算交付金額>					900,010 円/年×4年=	3,600,040

令和3年度棚田地域振興活動加算に係る取組内容(全取組期間)

市町村名： 岩見沢市 集落協定名：毛陽集落協定 取組期間：令和3～6年度（4年間）

達成目標		目標に係る具体的な活動内容	活動に係る経費内訳	積算根拠	金額（円）
ア 棚田等の保全	棚田の価値を生かした活動				
	集落機能強化	・令和6年までに4年間で畦塗施工長を400m実施する。	畦塗の施工により、漏水防止等を図る 畦塗施工 100m×4年	畦塗施工費 100m×150円×4年	60,000
	生産性向上	令和6年までに毛陽集落で農業生産法人に作業委託し、労働力不足の解消を図る（作業委託面積 現況0ha 目標1ha）	農業者の高齢化に伴う労働力不足を農業生産法人に作業委託することで、農地荒廃等を防ぐ	作業委託費 1式81,990円×4年	327,960
イ 棚田等の機能の保全を維持・発した多方面に	棚田の価値を生かした活動				
	集落機能強化	令和6年までに毛陽集落と隣接する万美集落と協調して、地元集会所周辺の環境整備を年3回行う。	万美集落と協調し、地元集会所周辺の環境整備（ゴミ拾い、花壇の手入れ等）を行い、景観形成に努める	人件費 1千円×3回×4年	12,000
	生産性向上	令和6年度まで毛陽集落において、鳥獣害防止に係る電牧器1台を導入し、電牧柵の設置と管理を行う。	電気柵を設置、また維持管理を行うことによって、鳥獣害から作物を守り、収量増加を図る	資材費 1式25千円 維持費 2千円×4回×4年	25,000 32,000
ウ 棚田を核とした棚田地域の振興	棚田の価値を生かした活動	令和6年度までに毛陽集落において、棚田米をブランド化し、直売用の米袋を作成し、販売を行う（目標数量4年間で6t）	ブランド米袋を作成し、直売所で販売を進め、棚田米のPRを行う	資材費 米袋(10kg) 100円×600枚	60,000
	集落機能強化	令和6年までに毛陽集落と万美集落、地域町会が連携して紅葉祭りを開催する（集客人数現況1,000人 目標1,800人）	地域総出による農産物の直売や都市と農村の交流イベントを開催し、地域への来客数の増加を目指す	人件費 8千円/年×2人×4年	64,000
	生産性向上				
合 計					580,960
<参考：棚田地域振興活動加算交付金額>					145,240 円/年×4年＝ 580,960